

畳のお手入れ

ふだんのおそうじ編

畳の表はイグサです。そのイグサを保護するために白土が塗られていますので、本来、水拭きはタブーです。ただし、水拭きが必要な時は、水に浸し固く絞ったぞうきんで、必ず目に沿って拭きます。よく晴れた日を選び、窓を開放して行いましょう。

用具

・掃除機 ・ぞうきん

① 換気

窓や扉を開け、風邪通しをよくします。



① 畳の目に沿って掃除機をかけます。



畳の目に沿ってかけないと、中に入り込んだホコリを取り除くことができません。

注意

また、イグサの表面を傷め、かえって汚れをしみ込ませてしまう原因にもなります。



アドバイス

ぞうきんは数枚用意し、洗濯機でまとめて脱水しておくくと便利です。

② 乾いたぞうきんで、畳の目に沿って拭きます。

乾いたぞうきんで、必ず目に沿って、後になるようにして拭いていきます。ぞうきんはつねにきれいなもの、きれいな面を使うようにします。または、畳に使用できる除菌モップで拭きます。



畳のお手入れ

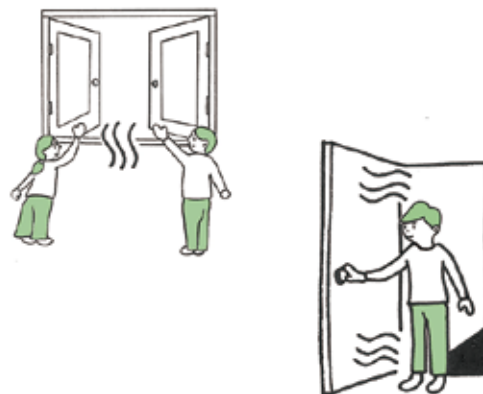
こぼした液体の
取りかた編

汚れは時間が経つと取れにくくなります。素早く処置することが大切。ゴシゴシこするとかえって汚れが広がってしまいます。乾いたタオルを当て、軽く押しつけて取るようにするのがコツです。

用具

・白地のタオル・霧吹きスプレー

0. 換気 窓や扉を開け、風邪通しをよくします。



1. こぼした液体の上に乾いたタオルを当て、軽く押しつけます。

濡らしたタオルを使うと、かえってシミが広がってしまいます。



注意

乾いたタオルを使う時も、ゴシゴシこするとシミが広がってしまいますので、注意してください。また、こぼした液体の量によりタオルを複数枚用意してください。

2. きれいな水を霧吹きスプレーなどでシミの上にかけて、素早く乾いたタオルで、水と一っしょに汚れを吸い取ります。タオルの乾いた面を使って、シミの色がなくなるまで、根気よく繰り返します。



注意

かける水は少量にし、素早く吸収させてください。水をたくさんかけすぎたり、吸い取りが遅れると、かえってシミを広げることになります。

3. よく乾燥させます。

畳のお手入れ

カビの 取りかた編

カビは、孢子が飛びやすいので飛ばさないように、おそうじをすることが大切です。畳にカビが生えるのは、湿気が多いためです。換気をしたり、干したりして湿気をためないようにしましょう。

用具

スプレー式容器・小分け容器・ブラシ・ぞうきん・ゴム手袋・マスク

薬剤

消毒用アルコール（エタノール 70～80%濃度のもの）

畳に緑色または、白っぽいカビが生えている場合の方法です。

1. 消毒用アルコール（エタノール）をスプレー式容器に入れて、カビ全体に吹きつけます。そのまま15分ほど放置します。
2. 小分け容器に入れた消毒用アルコールに浸したブラシで、畳の目に沿って、カビをかき出します。
3. かき出したカビをすくって、小分け容器に入れた消毒用アルコールの中で洗います。
4. 畳についているカビが取れるまで、(2)と(3)を繰り返します。



アドバイス

小分け容器に入れた消毒用アルコール中で、ブラシを洗いながら行います。汚れたエタノール液は、何度か交換してください。

5. 消毒用アルコールを吹きつけながら、乾いたぞうきんで、畳の目に沿って拭きます。
6. よく乾燥させます。

アドバイス

畳にカビが生えるのは、湿気が多いためです。できれば、天気の良い日に外で畳を乾かしましょう。または、畳の片方を上げて缶などはさみ、畳と床の間に風を通します。